

医療をつなぐ。この街をつなぐ。

東海記念病院 広報誌

# スマイル

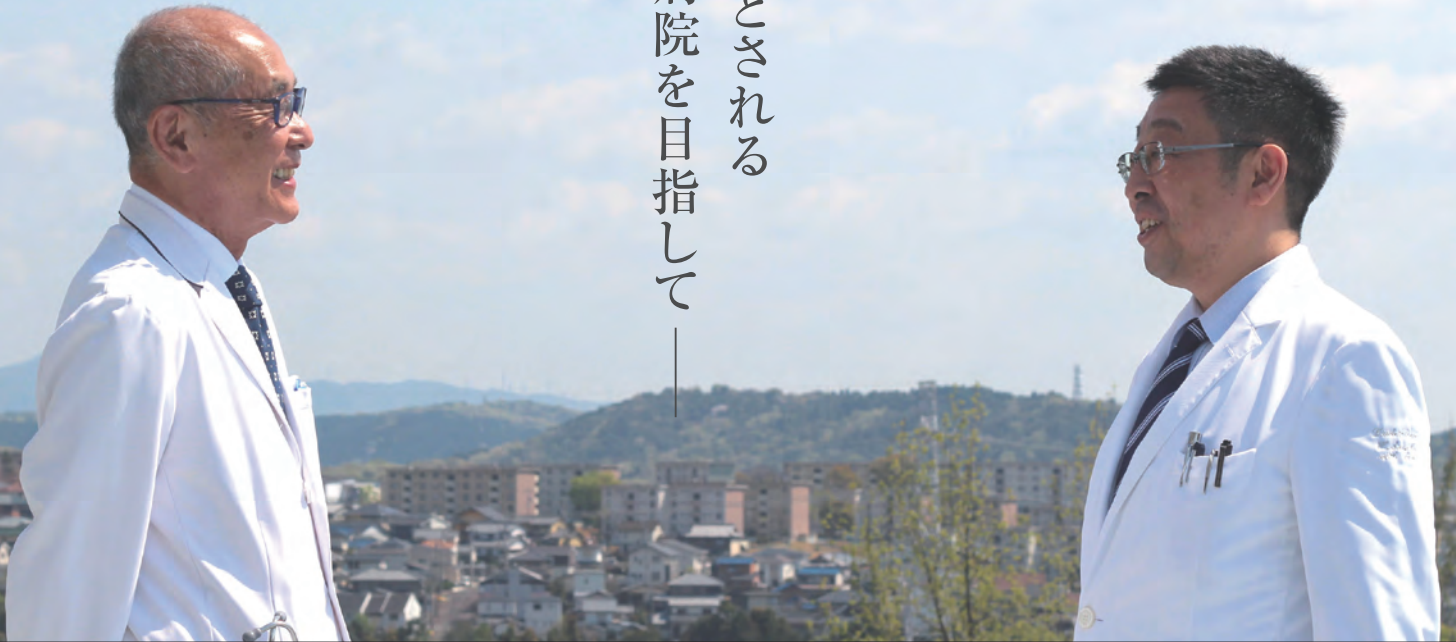
2023  
春号

特集

地域に必要とされる

病院を目指して

—





## 新任のご挨拶 佐々木 洋光

2023年4月1日付け  
で院長に就任いたしました  
佐々木洋光でございます。



創立者岡山義雄先生に始まり、

岡山政由先生、岡山直樹先生、堤靖彦先生が継

承されてきた全人的な医療の精神を引き継ぎ、高歳

寺坂下地区における当院の果たすべき役割を認識し、東海記念

病院全職員と共に全力を挙げて取り組んでまいりたいと思いま

すので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、わが国は今世紀の初め、今後訪れるであろう「少子高  
齢化・多死」社会を想定して地域包括ケアシステムを構築しよ  
うとしました。それから20年がたち、当初の目標となった  
2025年は目の前に来ていますが、「地域包括ケアシステム  
は完成した」と言えるレベルではないと思います。特に医療の  
部分で、急性期医療と慢性期医療そして病院医療と在宅医療  
の間には廻間が存在します。特にこの3年間新型コロナウイルス感  
染症蔓延の中で、この廻間が顕在化し、皆様には不安・不満を感じ  
られたと思います。特に今まで希望通りアクセスできていた医  
療介護にかかれぬというのは初めての体験だったのではない  
でしょうか。おそらく新型コロナウイルスの流行は近い将来終息  
していくでしょうが、医療・介護システムが現在のままなら、間  
違いなく不安・不満は解消されないと考えます。

そこで我々は3つの課題を解消していく事を今後の目標と  
していきます。

課題①急性期医療から慢性期医療のスムーズな移行を行って  
いきます。

課題②高齢者の体調不良に速やかに対応できる体制を構築し  
ていきます。

課題③高齢者の在宅復帰を地域の介護事業者と共に強力に  
サポートしていきます。

このミッションの達成は二筋縄ではいかないかもしれませんが、当院スタッフと共に諦めず取り組んでまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。



## 退任のご挨拶 堤 靖彦

2023年3月  
をもって院長を退  
任いたしました。

2017年に就任以  
来、力不足ながらもなんとかやっ  
てこられましたのも、ひとえにス  
タッフ皆様のおかげと感謝申し上げま

す。本当にありがとうございます。

この間、ハード面では地域包括ケア病棟の整  
備や電子カルテの導入、施設のリノベーション、  
ソフト面では急性期病院の後方支援をはじめ  
とする地域連携の体制作り、医療安全の推進  
などを皆様とともに進めて参りました。この  
数年はCOVID19への対応に追われ、大変  
な日々でした。パンデミック当初は不安が先行  
し防衛一辺倒の対応になってしまいましたが、  
徐々に発熱外来や入院対応も可能となり、近  
隣の医療機関や保健所のご助力もいただい  
て、微力ながらも地域に貢献できたのではな  
いかと思います。

これからコロナは5類になりウィズコロナの  
日常に移行することとなります。コロナ前と  
まったく同じ状況に戻ることはないのではし  
ょうが、この経験を糧にバージョンアップした日  
常が訪れる事を信じています。

退任後も病院で勤務を継続し、微力ながら  
も佐々木院長のお力になればと考えておりま  
す。少し肩の荷も下りて、眉間の皺も浅くなっ  
て患者さまやスタッフの方々とも明るく優しく  
お付き合いできればと思います。

本当にありがとうございます。そして、こ  
れからもどうぞよろしくお願ひいたします。



### 特集

# 地域に必要なとされる

## 病院を目指して――

### SPECIAL INTERVIEW



岡山理事長

佐々木院長

4月から新たに佐々木院長が就任し新体制となった東海記念病院。  
堤前院長の在任中の6年間を振り返りながら岡山政由理事長、佐々木院長に  
今後の病院のビジョンをお聞きしました。

前任の堤院長が岡山直樹副理事長の後  
任として院長に就任したのは2017  
年1月でした。在任中の約6年間の間に  
は、地域包括ケア病棟の増床・電子カル  
テ導入・病院の大規模修繕工事、喜峰会  
創立70周年など、様々な出来事があり  
ました。

一方で医療業界は、第7次医療計画の  
中で2025年に向けて地域医療構想  
など病院の機能分化・連携が進み始め  
た時期でもありました。そんな中で  
2020年からは新型コロナウイルス  
が発生し、我々を取り巻く環境が大き  
く変化しました。

これまでの6年間を振り返ってみていか  
がですか？

**岡山理事長** 当院の役割として地域の中  
での基幹病院の後方支援、高齢者の在宅・  
社会復帰、介護予防に取り組んでしまし  
た。この取り組みはこれからも続けな  
いといけないと思っていますし、より一層強  
化していきたいと考えています。

振り返ってみて印象に残っていることは  
創立70周年の行事ですね。コロナ禍でもあ  
ったので小規模になってしまし少し残念で  
したが印象に残っています。

堤先生とは40年以上の付き合いです  
が、職員に対しての指導も心優しく、医局  
のマネジメントや対外的なことも良く対  
応してくれました。6年間院長業務を全  
うして頂き感謝しています。

2014年の診療報酬改定で新設され  
た地域包括ケア病棟ですが、当院は新  
設と同時に導入し、2017年には95  
床まで拡大しました。

**岡山理事長** 病院の機能分化が求められ  
る中で、地域の中で当院の立ち位置を考  
え、導入を決めました。この地域では急性  
期は他の医療機関が力を入れてること  
もあり、地域包括ケア病棟を導入し、急性  
期治療を終えた方の在宅復帰支援や在宅  
で療養されている方の急変時の入院対応  
に力を入れていこうと考えました。

地域包括ケア病棟は地域の医療機関・  
介護施設との連携が重要です。地域包括  
ケア病棟の役割、機能に対する認知度を  
広げていくことが今後の課題だと思っ  
ています。

当院は機能強化型の在宅療養支援病院  
としての役割を担っています。訪問診療  
を行う地域の診療所との連携について  
はいかがでしょうか。

**岡山理事長** 当院が一番力を入れていか  
なければならぬ機能の一つです。開業医  
の先生から急性期病院へ紹介する流れが  
一般的ではありますが、重症度が高くない  
方に関しては積極的に当院を活用して頂  
きたいです。

今後は医療と介護との連携強化にも力  
を入れ、「時々入院 ほぼ在宅」というよう

患者さまの在宅生活をサポートしていただける病院になっていきたいと思っています。

2018年10月からは半年間大規模修繕工事を行いました。平成元年に開院した東海記念病院も今年で35年目に突入します。今後この建物をどう使っていきますか？

**岡山理事長** 開院当初は各地から多くの方に見学に来ていただいたり、建築雑誌にも掲載していただいたことを覚えています。

医療技術等の進化に伴って建物の中身も変わっていく必要があると思います。これまで地下から5階まで順調にリノベーションできたと思うので、今後も機能面を考慮し所々変えていきながら大切に使用していきたいと思っています。

2020年からはコロナウイルスが猛威を振るいました。当院にとっても非常に厳しい環境変化となりました。

**岡山理事長** コロナが病院に与えた影響は大きかったです。当初どのような病気がわからない状態でしたので、病院に行ったら感染してしまうのではないかとという患者さまの不安や医療従事者に対する世間の目など色々な影響がありました。



ました。

東海記念病院の印象は春日井市民病院にとって一番大事で頼れる後方病院であったことは間違いないです。今の我が国の問題にもなっていますが、急性期、慢性期の間を埋めることが難しいといわれる中、この役割を担える存在であることが第一の理由です。春日井市民病院の連携に携わるスタッフの方々に東海記念病院に行くことを伝えたら、非常にスタッフが熱心で生き生きとしていて患者さんのためを一番に考えている病院だと言っていて非常に楽しみにしていました。実際も聞いていた通り頼りになる病院という印象です。

昨年7月に当院に着任されて約9か月が経過しましたが、当院に抱いていた印象とのギャップなど、感じたことはありますか？

**佐々木院長** ギャップは少なく、非常に良いイメージです。特に、スタッフが本当に勉強熱心だとの9カ月で感じました。正直、急性期病院から転職して様々なギャップがあるのではないかと少し不安はありましたが、実際はその様な事は全くありませんでした。ただ、新しいものを取り入れたり、大きな変化に対して少し臆病になつていくことは感じます。ですが、全く受け入れられないというのではなく、知ろうという姿勢は感じるので、今後は新しいことにも積極的にチャレンジできるようにしていきたいです。

佐々木院長は糖尿病内科医でもありません。今後当院の糖尿病内科をどのように強化していこうと考えていますか？

**佐々木院長** 糖尿病は手間と期間を必要とします。これに対してスピードと効率を重視される急性期病院とは相性があま

そうした中で、当院では発熱外来、ワクチン接種、コロナ患者さまの入院受け入れの対応をしてきました。共に対応してくれたスタッフの方々には感謝しかありません。これから先はこのような感染症が数年に1回起こることも考えられます。そうした際にもしっかりと対応していきたいと思っています。

先ほどもこの6年間で印象に残っているとお話された創立70周年についてですが、先代の岡山義雄の後を継いで70周年を迎えた思いをお聞かせください。

**岡山理事長** 70周年を迎える中で日本の医療制度も時代と共に大きく変化しました。開院当初はリハビリテーションを中心とした病院として運営していましたが、先にお話した地域包括ケア病棟の導入など、少し先を見ながら当院の提供する医療も変化させてきました。うまく時代に沿って運営してこられたかなと思います。理事長に就任した当時のことを振り返ると、経済面で苦しい時期もあり、職員の給料を一部減らさなければならぬという大変な時期も経験しましたが、これも先代からのしつかりやれよというメッセージかなと思います。一緒に生きてくれたスタッフと共に何とか乗り越えることができました。

先代は「職員はみな家族」ということをよく口にしていました。私もその思いを引き継ぎ、これまで組織を引つ張ってきました。アットホームな組織風土は昔から変わらない病院の強みなので、これからも大切にしていきたいと思っています。

佐々木院長、院長就任おめでとうございます。率直に今の気持ちをお聞かせください。

りよくないと感じていました。教育入院についても急性期病院では期間が短くなつてしまつたので、この期間ですべて完結させ、退院後の外来でフォローするのは高齢者にとっては大変困難です。更に今後かかりつけ医の制度化が予想される中で急性期病院は糖尿病患者の外来でのフォローが困難な状況になることもあり得ると思います。このような状況で受け皿となるのが地域包括ケア病棟をもつ当院だと思っています。今後は地域の診療所では対応が困難な糖尿病治療を当院が担い、良くなつたらお戻しするというように連携していこうと考えています。

また、当院には糖尿病チームがあります。常勤の公認心理師も2名在籍しています。糖尿病学会でも問題とされている糖尿病患者のメンタルケアについても多種で連携して活動していきたいと思っています。

今年5月にはコロナが5類に移行し、また来年度は医療・介護・障害福祉のトリプル改定、第8次医療計画や医師の働き方改革のスタートと、この先もめまぐるしい変化が予想されます。こうした中で佐々木院長にはどのようなことを期待していますか？

**岡山理事長** 今後の医療では急性期医療は技術的な進化が進む中で、入院日数も更に少なくなっていくと思います。そうした中で、当院のような在宅復帰を支援する機能をもつ病院の必要性がこれまで以上に大きくなつてくると考えております。佐々木院長には、地域連携に携わっていただいた経験を活かして、地域との繋がりを強化しながら当院の目指す医療の実現にご協力していただきたいです。

**佐々木院長** 私は昨年、春日井市民病院を退職し東海記念病院に着任しました。コロナ禍での転職であったので不安は少しありましたが、「空けない夜はない」という言葉のようにいずれ不安はなくなるだろうと思っていました。しかし、ロシアのウクライナ侵攻、円安など病院に襲い掛かってくる問題が山積みで、非常にプレッシャーを感じているのが本音です。

前任の堤先生はマネジメント力に非常に長けておられて、人柄も尊敬できる方です。コツコツと着実に物事を前に進められる方で、一緒に仕事をさせてもらうことができ非常に勉強になりました。

佐々木院長は、これまで春日井市民病院の副院長・医療連携室長として、様々な医療機関との顔の見える関係づくりに取り組んでこられました。地域をよく知る佐々木院長から見た春日井市の医療提供体制、そして当院の印象はいかがでしたか？

**佐々木院長** 医療連携室長を拝命した当時、地域連携の強化は難しいと感じていました。実際に様々な取り組みを行いました。当時春日井市民病院の紹介率は非常に少なかったこともあり開業医の先生との連携に苦戦しました。私自身父親が開業医でしたので先生方のことを分かつたつもりではいたのですが、病院の中からでは開業医の先生方の気持ちは分からないんだと実感しました。そこで様々な開業医の先生に実際に足を運んでお会いして色々なお話をさせて頂きながら、顔の見える関係づくりに取り組みました。10年近くやってきて周りの方々の協力もありながら一定の体制づくりはできたと思っています。地域連携に取り組む中で、相手の立場に立つて物事を進めていくということがいかに大切かということを実感し

院長としての今後の抱負をお願いします。

**佐々木院長** 以前、創業者の岡山義雄先生のホスピタリティーについての記事を読ませていただきました。今でこそ地域包括ケアシステムの重要性が叫ばれる時代になりましたが、当時まだ昭和の急性期至上主義の中、30年後の未来を予見していたことに衝撃を受けたことを覚えております。こうした創業者の想いを理事長、堤先生が繋いでこられたと思うので、重責ではあります。私が私も継承していきたいと思っています。目指していく病院像は「地域の皆さんに頼られる病院」です。医療と介護の連携を強化し、地域密着型の地域包括ケア病院の役割を担っていきたくと思っています。

職員に対しては安心して、生き甲斐をもって勤められる病院にしていきたいです。岡山義雄先生の言葉の中に「医療人は一生勉強しなさい」という言葉があります。私もこの言葉に大変共感します。職員の学びを支える環境づくりにも力を入れていきたいと思ひますし、今後ますます医療機関は質を問われる時代になると感じているので病院一丸となつて勉強していきたいと考えています。



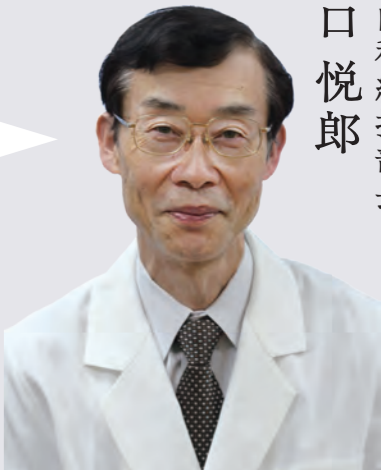
# New Face



## 新入職医師紹介

呼吸器内科統括部長

山口悦郎



2023年4月から一年ぶりに東海記念病院にお世話になります山口悦郎です。一昨年まで非常勤で外来勤務をしておりましたが、今度は常勤医としてより多くの貢献ができることになりました。専門は呼吸器内科で、2020年まで愛知医科大学で研究と臨床に従事しておりました。その後2022年から一年間県立愛知病院で院長として勤務しました。そこで多数のCOVID-19の患者さまの診療に当たりましたが、流行がほぼ終息し同院が閉院となるため、かつて永らく勤めていた東海記念病院に再びお世話になることになりました。

専門領域としてかつては気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、サルコイドシスなどでしたが、最近では肺癌や胸膜中皮腫の化学療法も積極的に行ってあります。また重症気管支喘息に対しては、各種抗体製剤が有効であり、その経験も豊富です。もちろんCOVID-19に限らず、細菌性肺炎、肺結核、非結核性抗酸菌症など、呼吸器感染症にも広く対応いたします。また近年間質性肺炎患者さまが増えており、線維化が進行する場合には抗線維化薬の適応があります。さらに当院では関節リウマチの患者さまが多数通院されており、間質性肺炎の併発もみられますので、その診断と管理も重要な役割と考えております。

内科の中で呼吸器疾患は感染症、アレルギー・自己免疫疾患、悪性腫瘍など極めて多彩です。そのどれにも対応可能ですので安心してお越し下さい。そして受診された方が全員「この病院に来て良かった」と思えるように努めたいと考えております。

2023年4月に入職しました、爾見雅人と申します。

1992年三重大学を卒業し、同大学第二内科に入局し、三重大学病院 済生会松阪総合病院 市立伊勢総合病院、伊勢赤十字病院で研修後、三重大学医学部大学院に入学、白血球の研究で博士号を取得しました。1999年には青山高原ふもとの県立一志病院にて、山間部の総合診療、訪問診療を経験しました。

2000年、愛知医科大学血液内科に赴任、血液疾患を中心に臨床・研究・教育に従事。2003年MDアンダーソン癌センターに1年間の留学機会もいただき、その後の臨床研究につながる経験をさせていただきました。

愛知医大退職後、2013年大雄会病院血液内科、2018年伊勢赤十字病院血液内科に赴任し血液疾患中心の診療に携わっております。

2021年より名古屋徳洲会病院内科にて内科全般を担当。治療に反応せず重症化する多くの症例に、自己免疫異常が影響していることに驚きました。コロナパンデミック後の高齢者医療における、免疫環境の重要性を改めて確認することができました。

血液・免疫異常を伴う疾患の治療経験をいかし、健康寿命を延ばせるよう、地域に寄り添う医療に微力ながら貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



血液内科部長  
爾見雅人

循環器内科  
石原敏和



初めまして。2023年4月より東海記念病院に赴任となりました循環器内科の石原敏和と申します。

2012年に名古屋大学を卒業し、名古屋市の武道館近くにある名古屋掖済会病院で初期研修を行った後、そのまま循環器内科医として勤務を続け、2019年から名古屋大学大学院で大学院生活を送っております。この度医局より「ご縁を頂き、東海記念病院で勤務を始めることになりました。

循環器内科医になった主な理由は、急性期治療で行われる患者様の劇的な変化（急性心筋梗塞など、大変苦しんでいる患者様が治療により速やかに症状が楽になり助かって笑顔になる、等々）に魅力を感じ、自分もその診療の助になりたいと思っておりました。ですが最近では大学院での生活を通じて、高齢者の心不全診療に興味を持っています。心不全は劇的によくなることはなく、上手に長く付き合っていくことが必要な病気です。そのため、医師と患者様の二人三脚での治療が必要になります。また他の病気を合併していることも多く、多くの医療従事者、他科の医師、看護師、リハビリの先生、検査技師さん等々と連携を取る必要も多いことが特徴です。東海記念病院で、多くの方々と関わりながら、患者様の診療を行っていきたくと考えております。

まだまだ未熟者ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

初めまして。2023年4月より東海記念病院に勤務することになりましたリハビリテーション科の西村正也と申します。

2021年に名古屋市立大学を卒業し、大同病院・名古屋市立大学病院で初期研修を終えました。疾患だけでなく患者さまを取りまく環境を診られることに魅力を感じ、今年度よりリハビリテーション科医として働くことを決意しました。

この病院でリハビリテーションについて学び、患者さまの機能回復・活動性の向上・社会参加のサポートを行えるようになりたいと思っております。趣味はゴルフ、ソフトバレーといった生涯スポーツで様々な年代の方と体を動かすことです。中でも祖父の影響で5年前から始めたゴルフに熱中しており、シングル目指して練習に励んでおります。様々な方とコミュニケーションを取りながらチームで活動することが好きなので、これを診療に活かしていければと思っております。

東海記念病院の一員として患者さまに寄り添い共に向上していけるよう精進していきたくと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科  
吉田達矢

初めまして。2023年4月より東海記念病院に赴任となりました循環器内科の吉田達矢と申します。

2012年に名古屋大学を卒業し、瀬戸にある陶生病院で初期研修から7年研鑽を積み、名古屋大学大学院で4年を過ごしました。陶生病院時代は、医師としての基本姿勢、そして病診地域連携の大切さを学ばせていただきました。東海記念病院にお世話になった患者様もいらっしゃると思います。大学病院では基礎研究を通じて疾患について深く考える視点を得られました。今まで学んできたことを通じて、東海記念病院の患者様や地域の皆様に貢献したいと考えております。

簡単な自己紹介になりますが、中学から大学までサッカー部に所属していました。趣味は食べることやワインが好きです。コロナ禍で外食ができず辛い時期でした。話す事が好きなので、皆様とうまくコミュニケーションをとりながら良い治療に繋がりたいと思っております。

できることを精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願致します。



リハビリテーション科  
西村正也



## Knot3. ブランシェ 訪問美容

地域の方々を取材させて頂き、地域とのつながりを広げながら情報を発信していく「地域つなげ隊」。  
第3回の今回はヘア、ネイルからスクール、フードといった幅広い事業を展開しているブランシェグループさんの「訪問美容部」をご紹介します。運営する株式会社ブランシェ取締役社長の南嶋さん、訪問美容部に所属するスタイリストの入谷さん、佐藤さん、山本さんにお話を伺いました。



左から山本さん、南嶋さん、入谷さん、佐藤さん



——訪問美容とはどのような事業ですか

**入谷** 身体が不自由な方などご自身で美容室に行けない方、自宅で介護をしてなかなか美容室に行くことができない方を対象に私たちが伺って綺麗にさせていただきに行く事業です。ご自宅に訪問するだけでなく、病院や介護施設に訪問することもあります。

——訪問美容室と一般美容室の違いはどのような所でしょうか

**入谷** 一番の違いはお客様に介護の必要な方が多いので、座っているだけでも疲れてしまうことを考慮して手早く施術する所です。また、施術

当院の介護施設にも来ていただいています



をしながらお客様の体調面などにも気を配りながら対応できるように常に心がけています。医療機器が周りに沢山ある場合も多く、髪の毛が入りこんでしまったり、コード、酸素の管等をつけないといけないかもしれません。命に関わることを隣合せなので一般のサロンとはまた違う気遣いが必要です。

——美容関係から飲食店まで幅広い事業があるブランシェグループですが、その中で「訪問美容」の事業を立ち上げたきっかけを教えてください。

**南嶋** 今まで来て下さったお客様の不便をこちらで何とか解消できないかという所から始まりました。元々美容を中心に事業を行ってきた今年で33年目を迎えます。40代から始めたお客様は70代、80代になつてきて、以前自分たちのお店に来ていただいていたお客様が来れなくなつてしまったというのを聞きました。最初は送迎を始めようかとも考えましたが、直接訪問した方がお客様のためになると思い立ち上げました。正直、ビジネス面で考えるとマイナスな面がありますが、何とか常連のお客様にサービスを提供していきたいという思いが強かったのでここまで続けてこられたと思っています。

——この事業を通してどのような時にやりがいを感じますか。また、大切にしていることを教えてください。

——春日井の地域性で好きな所を教えてください。

**入谷** 春日井のみなさんのウェルカム精神です。どこからきたの？と聞かれたら勝川からきたよの返答に喜んでくださるし、訪問先ではお義母さんとお嫁さんの仲が良い方をよく目にします。みなさんとても優しい方ばかりです。

ありがとうございます。

お話を伺いながらブランシェグループ「訪問美容部」の職種を超えたサービス精神にとっても感銘を受けました。同じ春日井市に拠点を置く者としてこれからも一緒に春日井市を盛り上げて行きましょう！

information



branché group



訪問美容 VISITING BEAUTY

ブランシェグループ HP



ブランシェグループ 訪問美容部 HP



**山本** お客様の中にはお話できない方もいらつしゃいますが、伝えたい意思はもつていらつしゃると思うんです。なのでなるべくどのようにお声がけしたらいいのかと感じ取れるように心がけています。

訪問美容室と一般美容室の違いはどのような所でしょうか

**入谷** 一番の違いはお客様に介護の必要な方が多いので、座っているだけでも疲れてしまうことを考慮して手早く施術する所です。また、施術

訪問美容とはどのような事業ですか

**入谷** 身体が不自由な方などご自身で美容室に行けない方、自宅で介護をしてなかなか美容室に行くことができない方を対象に私たちが伺って綺麗にさせていただきに行く事業です。ご自宅に訪問するだけでなく、病院や介護施設に訪問することもあります。

訪問美容室と一般美容室の違いはどのような所でしょうか

**入谷** 一番の違いはお客様に介護の必要な方が多いので、座っているだけでも疲れてしまうことを考慮して手早く施術する所です。また、施術



## イベントスケジュール

- 新型コロナウイルス感染症の流行状況によってイベントの中止等変更が生じる場合がございます。
- イベント参加の際、マスク着用・検温・手指消毒にご協力をお願いいたします。

4月	15日(土)	からだの相談会	11:00~16:00 無料 ★予約なし	イース春日井 無印良品内 ※混雑時は整理券を配布します。
5月	20日(土)	からだの相談会	11:00~16:00 無料 ★予約なし	イース春日井 無印良品内 ※混雑時は整理券を配布します。
	5日(月)	<b>糖尿病教室</b> 「糖尿病患者のための災害対策 ～大災害は必ずやってくる～」	14:00~15:00 無料	東海記念病院外来看護師 東海記念病院1階ダイケアルーム ●定員:20名
6月	17日(土)	からだの相談会	11:00~16:00 無料 ★予約なし	イース春日井 無印良品内 ※混雑時は整理券を配布します。
	26日(月)	<b>栄養教室</b> 「災害食について考えよう ～パッキング調理体験～」	14:00~15:00 無料	藍川智津(東海記念病院 管理栄養士) 東海記念病院1階ダイケアルーム ●定員:15名

変更時は、院内掲示や東海記念病院ホームページ等でお知らせいたします。随時開催状況の確認をお願いいたします。

## 事前予約方法

**糖尿病教室** ▶▶糖尿病チーム 理学療法科 渡辺 ☎0568-88-0568(代表) 平日9:00~17:00

**栄養教室** ▶▶栄養科 鈴木 ☎0568-88-0568(代表) 平日9:00~17:00

## スタッフ募集中

応募・  
問い合わせ先

病院ホームページから  
エントリーをお待ちしています。



☎0568-88-0568(代表)  
東海記念病院 総務課 郡(こおり)まで

### 東海記念病院院・健康管理センター

- 医師(常勤)
- 訪問診療医(常勤)
- 看護師(常勤・常勤夜勤専従)
- 看護助手(常勤・パート)
- 臨床検査技師(常勤・非常勤)
- 医療ソーシャルワーカー(常勤)
- メディカルアシスタント(常勤)
- 事務職員(常勤・パート)
- システムエンジニア(常勤)
- 管理職(課長)

### 介護複合施設・デイサービス喜峰・地域包括支援センター

- 保健師(常勤)
- 社会福祉士(常勤)
- 急募** 介護職(常勤・パート)
- 介護支援専門員(常勤・パート)
- 生活相談員(常勤)
- 主任介護支援専門員(常勤)
- 送迎ドライバー(パート)

## ●2023年度入社式

4月3日に2023年度入社式を行いました。今年度は、看護師、リハビリスタッフ、その他職員合わせて新たな26名の仲間を迎えました。式の最中は緊張の面持ちでしたが、写真撮影では明るい笑顔が見られました。  
新しい職員を迎えた喜峰会をよろしくお願いたします。



## ●健診センターオプション割引 キャンペーンのご案内

健康管理センターのオプション検査「骨密度測定」の料金を2023年度に受診される方限定で割引いたします! 50代以降の女性の4人に1人が骨粗鬆症といわれており、予防する上では閉経前、閉経後3年以内のタイミングで骨密度検査を受けることが良いとされています。男性の方も40歳頃から加齢とともに骨密度は減少すると言われていています。  
この機会に自分の骨密度はどのくらいなのか調べてみませんか?

キャンペーン期間: 2023年4月~2024年3月末  
料金: 通常5,500円(税込) → 3,000円(税込)

## ●骨密度測定装置が新しくなりました

骨密度測定は、骨粗しょう症の診断や治療効果の判定に使用され、低エネルギーX線を用いたDEXA法にて短時間で測定を行っております。治療目的で使用することがメインとはなりますが、上記のような健康診断のオプション検査の際にも使用しています。  
骨粗鬆症は発症すると骨折リスクだけでなく死亡リスクも高まると言われています。  
より多くの人に自身の骨密度を知っていただき、早めに予防に取り組んで頂きたいと思っております。



HOROGIC社  
Horizon Wi型

## ●ホワイト500に認定されました!

2020年度から取り組んでいる健康経営ですが、3月に3年連続の認定を受け、認定法人2676法人の中でホワイト500に認定されました。今後も従業員とその家族の健康維持への取り組みを続けることで、より質の高い医療・介護を提供できるよう努めてまいります。

### ホワイト500とは

経済産業省認定の「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の中でも、特に優秀であると認められた上位500社を示す通称です。



# 外来診療担当表 (令和5年4月1日現在)

## 午前診療

※第1・3土曜日は全診療科休診

●受付時間:8時00分～11時30分 ●診療時間:9時00分～12時00分

診療科	月	火	水	木	金	土
循環器内科	松井綾香	内藤千裕	藤本匡伸	松井綾香	吉田達矢	石原敏和
呼吸器内科		山口悦郎		林昌功	山口悦郎	林昌功
消化器内科	堤靖彦	永瀬拓	岡山政由	堤靖彦	岡山政由	永瀬拓
一般内科	爾見雅人	堤靖彦	後藤百子	爾見雅人	後藤百子	浅井光広
禁煙外来						林昌功 完全予約診療
脳神経内科	景山卓	伊藤大輔	景山卓	井口洋平	景山卓	
糖尿病内科	三輪晴香	佐々木洋光	佐々木洋光		三輪晴香	
外科・肛門科	安藤景一		第1・3・5週 深見保之 第2・4週 小松俊一郎	安藤景一	第1・3・5週 安藤景一	安藤景一
整形外科	岡山直樹 完全予約診療	岡山直樹 完全予約診療	第2・4週 岡山直樹 完全予約診療	岡山直樹	岡山直樹 完全予約診療	第2・4週 岡山直樹
	泉田誠	加藤治朗	泉田誠	泉田誠	與吾一幸	第2・4・5週 家崎雄介
	後藤祐太	泉田誠 9:00～11:00	河南勝久	村上純香	八木清	
リウマチ科			第1・2・3・5週 黒柳元			
心臓血管外科						第2週 朝倉貞二
脳神経外科	桑山直人	杉直記		桑山直人		
皮膚科	田中沙季		柴田知之	柳下武士 ※3		
泌尿器科	説田修 ※1	説田修 ※1	鹿島彩乃	小林郁生	川西秀治	愛知医科大学医師
眼科	濱田瑞綺	石田雄一郎 ※2	祖父江茜	祖父江茜	黒田智子 完全予約診療	
耳鼻咽喉科	金子政道 9:00～	酒井亜紀 9:30～	加藤康子 9:30～	加藤康子 9:30～	加藤康子 9:30～	第2・4・5週 伊藤聡志 9:00～
歯科	澤田憲孝	澤田憲孝	岡山香那	岡山香那	岡山香那	岡山香那
リハビリ科			沖高司	早川知恵美		

## 午後診療

●受付時間:診察開始時間の30分前

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科		松原達昭 13:30～15:30			
脳神経内科		伊藤大輔 13:30～15:30		井口洋平 13:30～15:30	
糖尿病内科		佐藤寿一 予約診療 14:00～17:00	加藤誠 予約診療 14:00～17:00		
心臓血管外科	第4週または 第5週※5 朝倉貞二 14:00～17:00				
歯科	澤田憲孝 14:00～17:00	澤田憲孝 14:00～17:00	岡山香那 14:00～17:00	岡山香那 14:00～15:00	岡山香那 14:00～16:00
乳腺外科	井戸美来 14:00～17:00		後藤真奈美 14:00～17:00		
リウマチ科		岡山直樹 予約診療 13:30～			
骨粗鬆症外来					第2週 泉田誠 予約診療 14:00～17:00
ペースメーカー 外来					第3週 吉田達矢 予約診療※4 14:00～15:30
小児整形・ 障害児(者)外来					第2・4週 岡川敏郎 14:00～17:00

※1 予約のある方、紹介状をお持ちの方、もしくは過去に受診歴のある方のみ  
の診療となります。

※2 11時受付終了となります。

※3 第1・4木曜日は、11時受付終了となります。

※4 ※4 診察希望の場合は循環器内科医師にご相談ください。

※5 第4土曜日の翌週の月曜日が診察日となります。

【休診日】第1・3土曜日、日曜日、祝祭日及び12月31日～1月3日 ※緊急の場合は診療時間に関わらず、いつでも受付いたします。

●午前診察は予約診療となっております。予約外の方は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。

●緊急手術のため、休診・代診等急な変更となる場合があります。ご了承ください。

## 医療法人社団喜峰会 東海記念病院

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町字大洞681-47 TEL 0568-88-0568 FAX 0568-88-2308

- ショートステイけやきが丘
- 訪問看護ステーションあすなろ
- 通所リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション
- 居宅介護支援事業所
- デイサービス喜峰
- REHAP神領
- 春日井市地域包括支援センター藤山台・岩成台

発行日 令和5年4月20日 写真等は事前に掲載許可を頂いております。



ホームページやSNSはこちら

